

2019年度 第1四半期 決算説明資料

2019年8月6日

ブラザー工業株式会社

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2019年度Q1実績

✓ 主に産業機器の需要低迷により、減収減益

- ・通信・プリンティング機器は、OEM販売数量は減少も、製品ミックスが改善
消耗品はグローバルで堅調に推移
- ・工業用マシンは、中国、アジアを中心に需要が低迷
- ・産業機器は、自動車・一般向け、IT向けとも需要が低迷
- ・N&C事業は、新モデル投入前の買い控えと経費の過年度修正で赤字
- ・ドミノは、C&M機器を中心に、中国を除きグローバルで堅調に推移

2019年度通期見通し

✓ 業績予想は、前回予想から変更無し

- ・セグメント内訳、為替前提も前回予想を据え置き

単位：億円

	18Q1	19Q1	増減	増減率 ()は為替影響 除く増減率
売上収益	1,711	1,592	-119	-6.9% (-4.9%)
事業セグメント利益	205	176	-28	-13.8%
事業セグメント利益率	12.0%	11.1%		
その他の収益・費用	18	4	-13	
営業利益	223	181	-42	-18.7%
営業利益率	13.0%	11.4%		
税引前利益	225	180	-45	-19.9%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	166	129	-37	-22.3%
USD	108.71	110.00		
EUR	129.39	123.29		

2019年度 第一四半期の

売上収益は、前年同期比 119億円減の **1,592億円**事業セグメント利益は、 28億円減の **176億円**営業利益は、 42億円減の **181億円**親会社当期利益は、 37億円減の **129億円** となりました。

2019年度第1四半期 事業セグメント別実績

brother
at your side

単位：億円

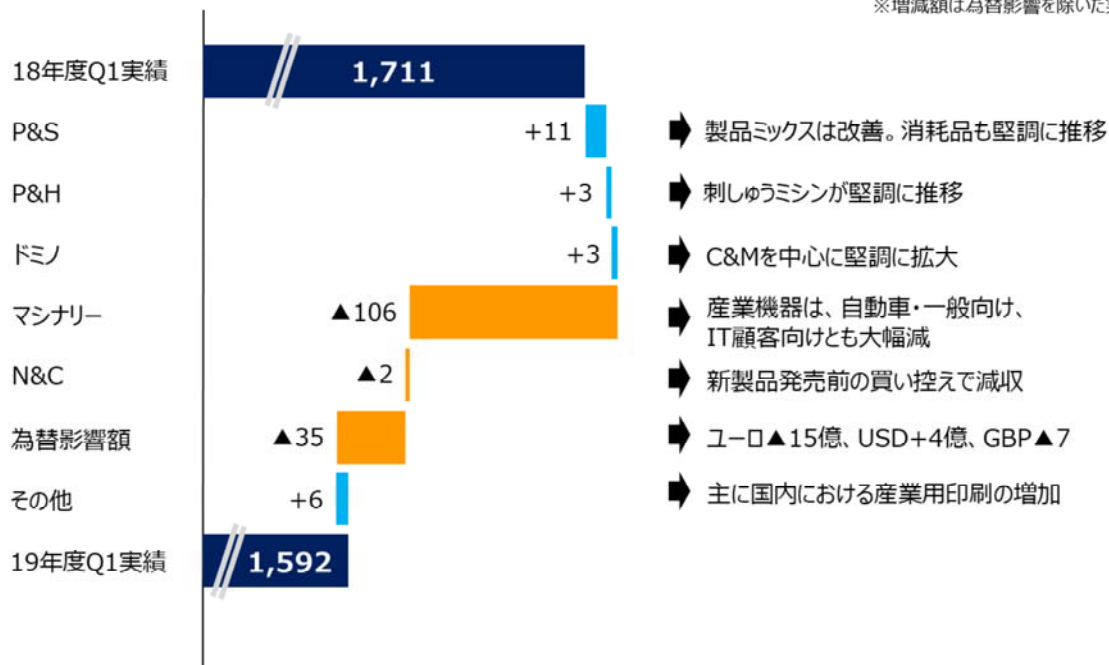
	18年度Q1	19年度Q1	増減	
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	995	982	-13
	事業セグメント利益	149	164	16
	営業利益	160	166	6
パーソナル&ホーム	売上収益	88	89	1
	事業セグメント利益	-1	1	3
	営業利益	-1	1	2
マシナリー	売上収益	314	205	-109
	事業セグメント利益	42	5	-36
	営業利益	43	6	-38
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	115	113	-2
	事業セグメント利益	2	-6	-8
	営業利益	2	-5	-7
ドミノ	売上収益	171	169	-3
	事業セグメント利益	12	11	-1
	営業利益	16	11	-4
その他	売上収益	28	34	6
	事業セグメント利益	2	2	0
	営業利益	3	4	2
合計	売上収益	1,711	1,592	-119
	事業セグメント利益	205	176	-28
	営業利益	223	181	-42

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

マシナリー（産業機器）、為替影響により、減収となる

※増減額は為替影響を除いた実質ベース



売上収益の減収要因を説明します。

P&Sは、OEM向けの製品販売は減少したものの、レーザー・インクジェットともに製品ミックスが改善したことや、消耗品がグローバルで堅調に推移したこと、また電子文具が堅調だったこともあり、実質**11**億円の増収。

P&Hは、刺しゅうマシンが堅調に推移したことにより、実質**3**億円の増収

ドミノは、C&Mを中心に拡大し、実質**3**億円の増収。

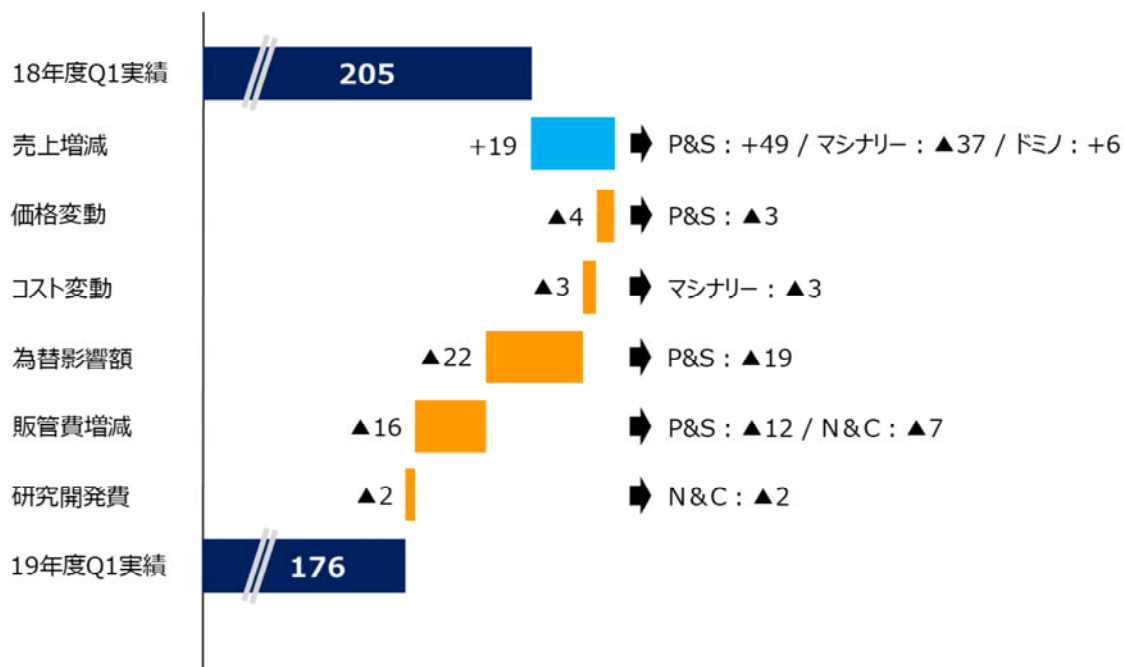
マシナリーは、主に産業機器が、自動車・一般向け、IT顧客向けの工作機械の受注減の影響により、実質**106**億円の減収。

N&Cは、新製品発売までの買い控えによる影響もあり、実質**2**億円の減収。

加えて為替のマイナス影響が35億円あり、

全体で**119**億円の減収となりました。

P&Sは堅調も、主にマシンリー（産業機器）の減収と為替の影響で、減益となる



次に、事業セグメント利益の減益要因の分析です。

売上増減は、産業機器が減収になった影響があったものの、P&Sが製品ミックスの改善と消耗品売上増加により、**19億**の増益要因となりました。

価格変動は、P&S事業において、一部の製品での値下げの影響などがあり、**4億**の減益要因となりました。

コスト変動は、**3億**の減益要因となりました。
主にマシンリー事業におけるコストアップが要因です。

為替影響額は、**22億円**の減益要因となりました。

販管費増減は、**16億円**の減益要因となりました。
主にN&Cで経費の過年度修正を行ったことによる影響です。

最後に研究開発費は、**2億円**の減益要因となりました。
主に、N&Cの開発費用の影響です。

これらの結果、全体では**28億円**の減益となりました。

2019年度通期 連結業績予想概要

brother
at your side

単位：億円

	前回予想	19年度	増減	18年度	増減	増減率 0 は為替影響 除く増減率
売上収益	6,900	6,900	-	6,840	60	0.9% (+1.9%)
事業セグメント利益	665	665	-	720	-55	-7.6%
事業セグメント利益率	9.6%	9.6%		10.5%		
その他の収益・費用	-15	-15	-	0	-15	
営業利益	650	650	-	719	-69	-9.6%
営業利益率	9.4%	9.4%		10.5%		
税引前利益	650	650	-	723	-73	-10.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益	485	485	-	539	-54	-10.0%
USD	110.00	110.00		110.69		
EUR	125.00	125.00		128.43		

業績予想は前回予想から変更無し

- ✓ セグメント内訳、為替前提も前回予想を据え置き

© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

7

次に、19年度の業績予想です。為替前提を含め、前回から見通しを変更していません。

Q1の各事業の進捗状況は、為替水準および産業機器の受注見通しとも、期初の見方を変えなければならない状況には至っていないため、今回は前回予想を据え置いています。

売上収益は、前年比 **60億円増の 6,900億円**、

事業セグメント利益は、**55億円減の 665億円**、

営業利益は、**69億円減の 650億円**、

親会社当期利益は、**54億円減の 485億円** を見込んでおります。

2019年度通期 事業セグメント別予想

brother
at your side

単位：億円

		18年度実績	19年度予想	増減	前回予想	19年度予想	増減
プリンティング&ソリューションズ	売上収益	4,030	3,975	-55	3,975	3,975	-
	事業セグメント利益	522	481	-41	481	481	-
	営業利益	529	474	-55	474	474	-
パーソナル&ホーム	売上収益	454	452	-2	452	452	-
	事業セグメント利益	40	32	-8	32	32	-
	営業利益	40	32	-8	32	32	-
マシナリー	売上収益	1,041	1,079	38	1,079	1,079	-
	事業セグメント利益	98	88	-10	88	88	-
	営業利益	99	87	-12	87	87	-
ネットワーク&コンテンツ	売上収益	479	502	23	502	502	-
	事業セグメント利益	18	22	4	22	22	-
	営業利益	16	20	4	20	20	-
ドミノ	売上収益	712	739	27	739	739	-
	事業セグメント利益	39	39	0	39	39	-
	営業利益	29	39	10	39	39	-
その他	売上収益	122	152	30	152	152	-
	事業セグメント利益	4	3	-1	3	3	-
	営業利益	8	-2	-10	-2	-2	-
合計	売上収益	6,840	6,900	60	6,900	6,900	-
	事業セグメント利益	720	665	-55	665	665	-
	営業利益	719	650	-69	650	650	-

※セグメント間取引消去額は含めておりません。

プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother
at your side

単位：億円

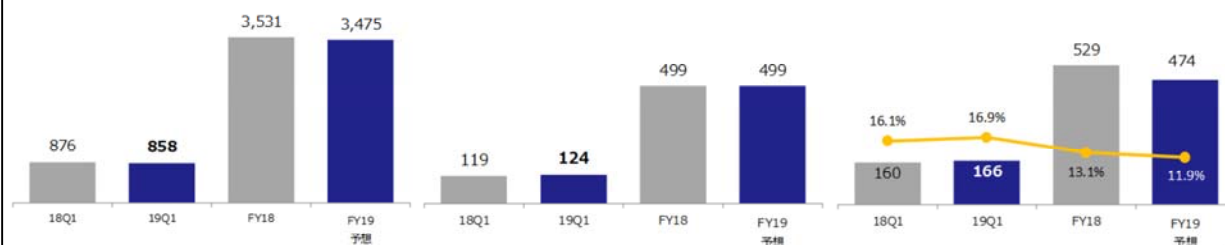
	18Q1	19Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY18	FY19 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	995	982	-1.3%	1.1%	4,030	3,975	-1.4%	0.1%
通信・プリンティング機器	876	858	-2.1%	0.4%	3,531	3,475	-1.6%	-0.1%
米州	314	320	1.7%	2.4%	1,300	1,256	-3.4%	-2.3%
欧州	273	268	-1.9%	2.7%	1,162	1,146	-1.4%	0.8%
アジア他	173	165	-4.5%	-0.8%	620	652	5.1%	6.9%
日本*	115	105	-8.9%	-8.9%	448	421	-5.9%	-5.9%
電子文具	119	124	4.6%	6.7%	499	499	0.0%	1.4%
米州	56	58	3.7%	3.8%	225	226	0.3%	1.4%
欧州	32	34	7.1%	12.0%	145	147	1.2%	3.3%
アジア他	21	20	-7.4%	-3.3%	79	82	4.4%	6.1%
日本	9	12	28.8%	28.8%	50	45	-11.3%	-11.3%
事業セグメント利益	149	164	10.6%	-	522	481	-7.8%	-
営業利益	160	166	3.8%	-	529	474	-10.4%	-

*日本の売上収益の減少は、OEMの減少によるものです。

<売上収益> 通信・プリンティング機器

<売上収益> 電子文具

<営業利益>



© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

9

P&S事業の第1四半期の売上収益は、982億円で、現地通貨ベースでは対前年でプラス1.1%増となりまして。

通信・プリンティング機器の売上収益は、858億円で、現地通貨ベースでは対前年でプラス0.4%増となりまして。

エンジンごとの伸び率の内訳は10ページに記載しておりますのでご覧ください。

地域別には、米州・欧州は、消耗品の堅調さもあり、堅調に推移したものの、中国・アジアでは、米中貿易摩擦の影響等で需要が減速したことに加え、前年の売上水準が高かったことにより、微減となりました。

日本では、ブラザーブランドでの製品・消耗品とも堅調に推移したものの、他社向けOEMの販売数量が減少したことにより、全体で減収となっています。

次に、電子文具の売上収益は、124億円で、現地通貨ベースでは対前年で6.7%の増収となりました。ピータッチの販売が、グローバルで堅調に推移したことに加え、モバイルプリンターなどのソリューション分野も、国内での案件獲得など、好調に推移しました。

プリンティング&ソリューションズ事業 主要製品別売上伸び率・構成比



	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4	19Q1	17通期	18通期	19通期
LBP												
売上伸び率（円ベース/前年比）												
本体	13%	24%	23%	11%	1%	-3%	-5%	-17%	-9%	17%	-6%	0%
消耗品	-1%	2%	9%	1%	1%	1%	-1%	-4%	2%	3%	-1%	-1%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）												
本体	12%	15%	15%	10%	2%	0%	-1%	-12%	-6%	13%	-2%	2%
消耗品	-2%	-8%	2%	-1%	1%	3%	2%	-1%	4%	-2%	1%	1%
IJP												
売上伸び率（円ベース/前年比）												
本体	3%	15%	3%	-1%	-6%	-6%	2%	-6%	-2%	4%	-4%	3%
消耗品	4%	3%	13%	3%	1%	-1%	-3%	-5%	1%	6%	-2%	-8%
売上伸び率（現地通貨ベース/前年比）												
本体	3%	6%	-3%	-2%	-3%	-2%	6%	-1%	1%	1%	-1%	5%
消耗品	4%	-5%	6%	1%	1%	1%	0%	-2%	3%	1%	0%	-7%
消耗品比率												
	57%	57%	56%	58%	58%	58%	57%	61%	60%	57%	58%	58%
販売台数伸び率（実績のみ/前年比）												
LBP	13%	9%	10%	3%	-1%	-8%	-7%	-16%	-13%	9%	-8%	-
IJP	-7%	-5%	-9%	3%	-1%	-2%	-1%	-4%	0%	-5%	-2%	-

© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

10

2019年度第1四半期の売上伸び率ですが、

LBPは、本体が-6%、消耗品が4%となりました。LBPの本体が減っているのは、OEM販売数量の減少と、収益性の良くないスーパーローエンド製品を政策的に減らしていることによるものです。

IJPは、本体が1%、消耗品が3%となりました。新興国向けのインクタンクモデルは堅調に推移しています。

消耗品は、LBP、IJPともに堅調に推移しています。

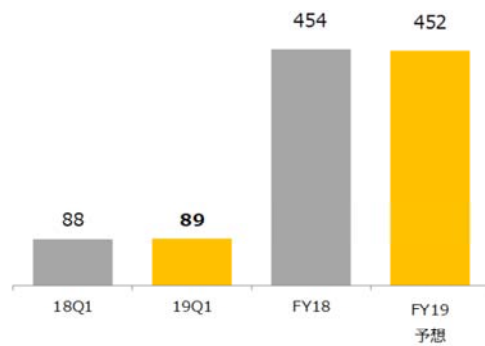
パーソナル&ホーム事業 地域別売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother
at your side

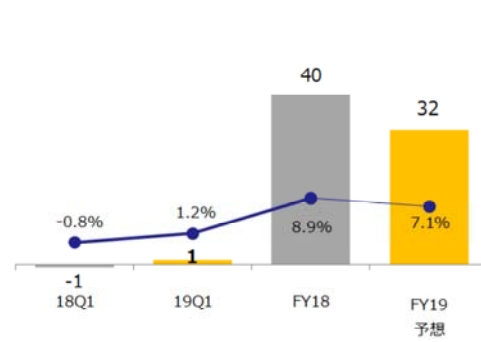
単位：億円

	18Q1	19Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY18	FY19 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	88	89	0.8%	3.0%	454	452	-0.5%	1.3%
米州	43	46	6.9%	7.7%	258	250	-3.2%	-1.7%
欧州	25	24	-2.4%	2.6%	111	113	1.9%	4.8%
アジア他	12	12	-5.3%	-2.2%	50	54	8.1%	10.1%
日本	8	7	-12.9%	-12.9%	36	35	-0.5%	-0.5%
事業セグメント利益	-1	1	-	-	40	32	-20.7%	-
営業利益	-1	1	-	-	40	32	-20.6%	-

<売上収益>



<営業利益>



© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

11

P&H事業の第1四半期の売上収益は、89億円で、現地通貨ベースでは対前年でプラス3.0%増収となりました。

地域別には、アジア・国内が弱かったものの、米州・欧州においては、刺しゅうマシンが堅調に推移しました。

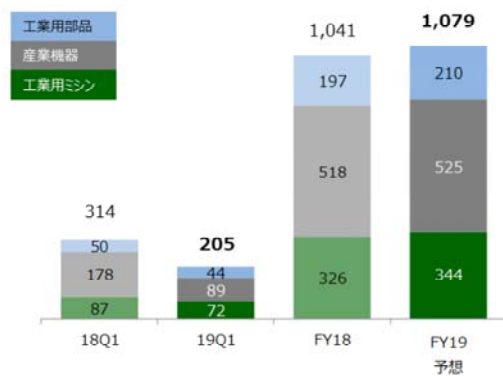
マシナリー事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother
at your side

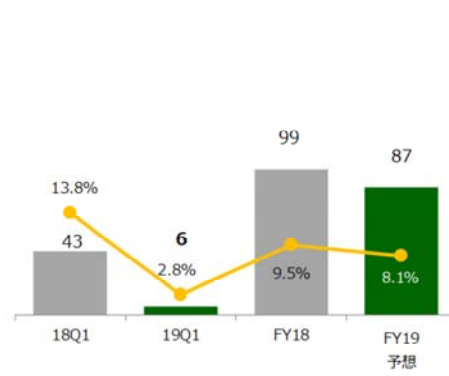
単位：億円

	18Q1	19Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY18	FY19 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	314	205	-34.6%	-33.8%	1,041	1,079	3.6%	4.0%
工業用マシン	87	72	-16.5%	-15.1%	326	344	5.4%	6.6%
産業機器	178	89	-50.1%	-49.5%	518	525	1.4%	1.3%
工業用部品	50	44	-10.4%	-9.9%	197	210	6.4%	6.9%
事業セグメント利益	42	5	-87.1%	-	98	88	-9.8%	-
営業利益	43	6	-86.9%	-	99	87	-12.2%	-

<売上収益>



<営業利益>



© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

12

マシナリー事業の第1四半期の売上収益は、工業用マシンが72億円、産業機器が89億円、工業用部品が44億円となりました。

工業用マシン事業は、ガーメントプリンターは、グローバルで需要拡大が続いたものの、工業用マシンでは中国やアジアを中心に投資に慎重な姿勢が見られ、需要が低迷したことにより、事業全体で減収となりました。

産業機器は、自動車・一般機械関連向けは、国内、及び中国向けの需要が低迷したことに加え、IT向けの売上がほぼなくなったことにより、事業全体で大幅な減収となりました。

工業用部品については、アジアを中心とした景気減速の影響により、減収となりました。

利益については、主に産業機器が減収となった影響により、大幅な減益となりました。

マシナリー事業 地域別売上収益

brother
at your side

単位：億円

	18Q1	19Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY18	FY19 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	314	205	-34.6%	-33.8%	1,041	1,079	3.6%	4.0%
工業用マシン	87	72	-16.5%	-15.1%	326	344	5.4%	6.6%
米州	17	15	-9.3%	-10.2%	65	71	9.3%	10.6%
欧州	21	18	-16.2%	-12.0%	71	75	5.0%	7.9%
アジア他	47	37	-20.8%	-19.6%	181	190	4.6%	5.1%
日本	2	2	22.9%	22.9%	8	8	-3.0%	-3.0%
産業機器	178	89	-50.1%	-49.5%	518	525	1.4%	1.3%
米州	9	8	-10.2%	-	33	40	21.7%	-
欧州	11	8	-30.2%	-	30	32	5.9%	-
アジア他	131	49	-63.0%	-	341	324	-4.9%	-
日本	27	25	-7.7%	-	114	129	13.4%	-
工業用部品	50	44	-10.4%	-9.9%	197	210	6.4%	6.9%
米州	6	7	10.4%	9.2%	25	25	0.9%	1.7%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	6	5	-13.9%	-8.9%	22	24	9.4%	11.4%
日本	37	33	-13.1%	-13.1%	150	161	7.1%	7.1%

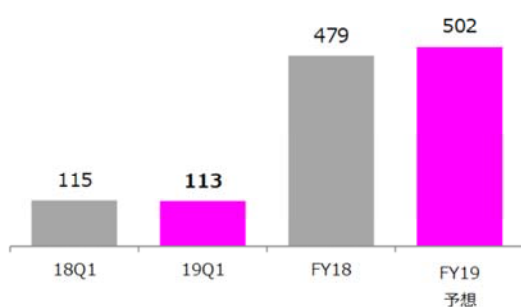
ネットワーク&コンテンツ事業 売上収益・事業セグメント利益・営業利益

brother
at your side

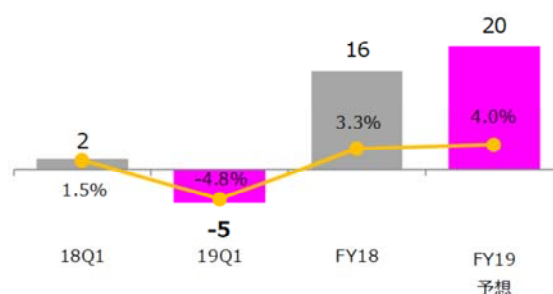
単位：億円

	18Q1	19Q1	増減率	FY18	FY19 予想	対前年 増減率
売上収益	115	113	-1.8%	479	502	4.7%
事業セグメント利益	2	-6	-	18	22	23.7%
営業利益	2	-5	-	16	20	25.5%

<売上収益>



<営業利益>



© 2019 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

14

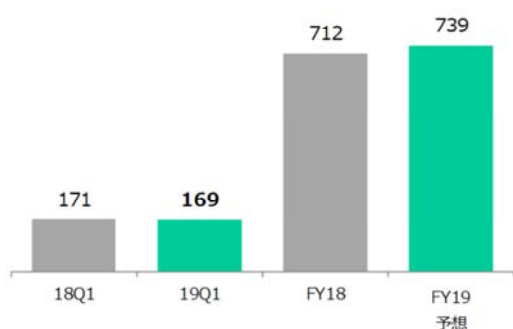
N&C事業の第1四半期の売上収益は、113億。前年比微減となりました。

店舗事業は堅調に推移したものの、通信カラオケ機器の新モデルの投入を控え、旧モデルの製品販売が停滞したこともあり、減収となりました。

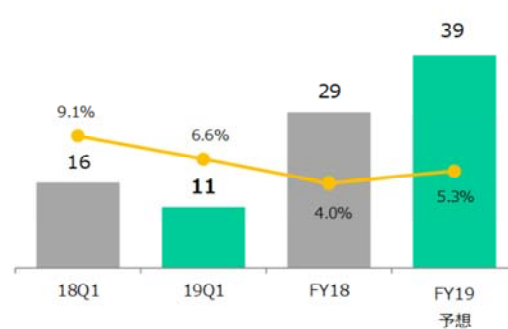
利益については、売上の減少、および経費の過年度修正を行ったため、赤字となりました。

	18Q1	19Q1	増減率	為替影響 除く増減率	FY18	FY19 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	171	169	-1.5%	2.0%	712	739	3.7%	3.8%
米州	35	39	9.4%	8.8%	159	174	9.2%	10.6%
欧州	87	84	-3.4%	1.4%	358	359	0.2%	1.6%
アジア他	49	46	-6.0%	-2.0%	195	207	6.3%	7.8%
事業セグメント利益	12	11	-9.7%	-	39	39	-1.2%	-
営業利益	16	11	-28.8%	-	29	39	36.1%	-

<売上収益>



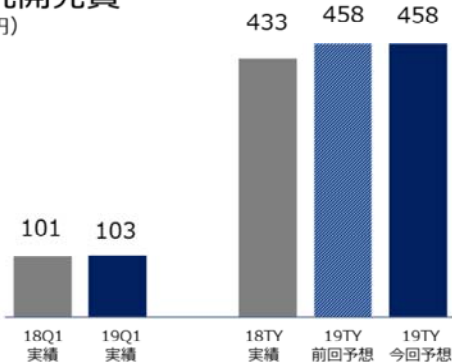
<営業利益>



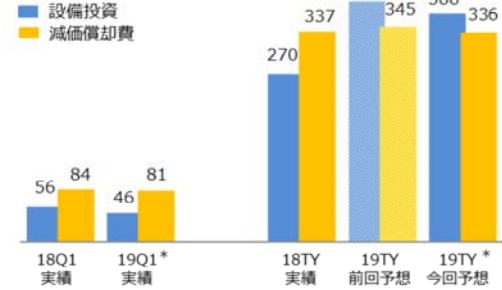
ドミノ事業の第1四半期の売上収益は169億円となり、現地通貨ベースでは2.0%の伸びとなりました。地域別では、C&Mについては米州、欧州を中心にグローバルで堅調に推移しました。デジタル印刷では期ずれ要因もあり、想定を下回りました。

事業セグメント利益は、研究開発費等の先行投資増加の影響により、減益となりました。営業利益については、前期に計上した為替の差益がなくなったことにより、減益となっております。

研究開発費
(億円)

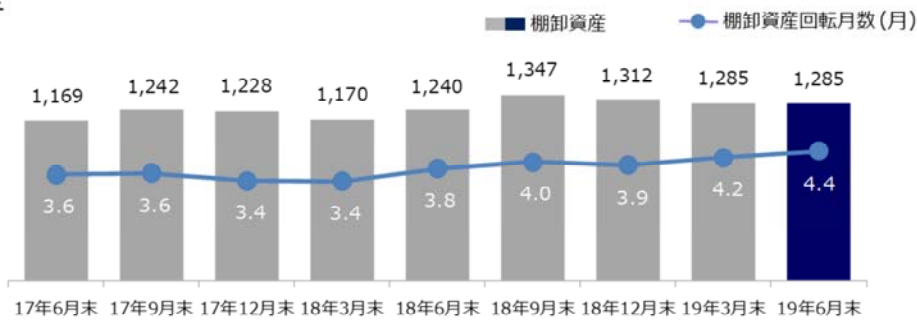


設備投資・減価償却費
(億円)



*IFRS第16号「リース」適用による使用権資産の取得および償却を除く

棚卸資産
(億円)



※棚卸資産回転月数 = 棚卸資産 ÷ (1ヶ月平均売上原価)

今年度より適用となったIFRS16号、リースに関する会計処理の改定を受け、設備投資と減価償却費の集計定義を変更しています。使用権資産の取得と償却は、設備投資と償却費の集計対象に加えません。

ファイナンスリースによる取得も今後はリース資産ではなく使用権資産として認識することになるため、従来は設備投資と償却費に含めていたファイナンスリースによる取得分も、今後は集計の対象から除くこととします。

この変更により、設備投資でマイナス19億円、減価償却費でマイナス9億円、通期の予想値を変更します。なお、あくまでも集計定義の変更であり、損益影響はありません。

brother
at your side